

『内科学 第11版』 正誤表 (2021/1/28版)			
該当ページ	該当箇所	誤	正
目次5	左段10, 11行	(2)腎実質性高血圧, 腎血管性高血圧 【⇒8-3-1-2】	(2)腎実質性高血圧, 腎血管性高血圧 【⇒8-3-2, 3】
目次6	左段8行	3)腎血管性高血圧【⇒8-3-2】	3)腎血管性高血圧【⇒8-3-3】
目次8	右段26行	(6)非侵襲的陽圧呼吸(NPPV)	(6)非侵襲的陽圧呼吸(NPPV)
目次45	左段16~18行	(2)胸郭出口症候群 (3)神経痛生筋萎縮病 (4)糖尿病性筋萎縮病	(2)腕神経叢の疾患
目次46	左段22行	(6)有機リン中毒	(6)有機リン中毒【⇒17-11-2-7】
179	右段20行	(6)非侵襲的陽圧呼吸(NPPV)	(6)非侵襲的陽圧呼吸(NPPV)
302	左段24, 29行	LVG	LGV
365	章タイトル	循環器の疾患	循環器系の疾患
498	図7-6-27	〈図中矢印の位置の誤り〉	下図参照
534	右段4行目	大隔膜	横隔膜
739	右段14行目	賛成	産生
494	右段10行目	塩酸ホモクロロニクリジン	塩酸ホモクロロシクリジン
809	左段30行目	エアトラッピング	エアトラッピング
822	右段28行目	脳部	胸部
992	概念の段落上から6行目	Drossmanら	Drossmanら
993	図10-5-22	ラミナ神経	ラミナ I 神経 (Iはローマ数字のone)
993	図10-5-22	メカノセンサリニューロン	機械刺激ニューロン
1372	左段21行目	トランスフェリンとIgGのクリアランスの比 ($C_{\text{transferin}}/C_{\text{IgG}}$)	IgGとトランスフェリンのクリアランスの比 ($C_{\text{IgG}}/C_{\text{transferin}}$)
1450	左段4行目	内皮細胞障	内皮細胞障害
1471	左段1行目	近位尿管	近位尿管
1580	表14-4-2の6行目	無痛性甲状腺後	無痛性甲状腺炎後
1596	図14-5-8	血清補正Ca/2	血清補正Ca
1984	右段41行目	白血病裂孔が消失し	白血病裂孔が出現し
1996	右段40行目	BCL2蛋白陰性であり	BCL2蛋白は通常は陽性であり
2013	表16-10-19	病期 I, II期のいずれにも属さないもの	病期 I, III期のいずれにも属さないもの
2140	図17-6-11	抑制性ニューロン:青, 興奮性ニューロン:赤	抑制性ニューロン:赤, 興奮性ニューロン:青
A27(略語表)	GMP	guanosine monophosphate	guanosine monophosphate
12(索引)		エアトラッピング	エアトラッピング
124(索引)	「肺血管抵抗」と「肺血流減少群」の間	〈追加〉	肺血栓塞栓症 822
124(索引)	「肺高血圧症」の子項目	慢性肺血栓塞栓性—— 661	慢性血栓塞栓性—— 661, 822
146(索引)		lymphogranuloma venereum:LVG	lymphogranuloma venereum:LGV
電子版8-2-5-7	コラム1, 13行目	特に褐色細胞の隣に	特に褐色細胞の際に
電子版10-5-14	表10-5-E表題	Drossmanら, 2006	Drossmanら, 2016
電子版10-5-14	表10-5-E左段	嗚気障害	嗚気障害
電子版10-5-14	表10-5-E右段	Rome IIIは2016年にRome IVに改訂される	〈削除〉